

淀協・東日本地震対策本部ニュース

No5 2011.3.18 淀協東日本地震対策本部

淀協・緊急報告会

本日！ 18日(金)18時～ のざと診療所3階にて

全職員・友の会員対象

鈴木医師、金医師、今村総師長、鶴瀬副事務長、
武田部長、坂本書記長が報告予定。

16日に4tトラックで 支援物資を現地へ！

地震発生以来、全職員にタオル1枚運動を呼びかけ、毎日山のように支援物資が管理室に届けられています。16日(水)には、4tトラックで支援物資と共に、ファルマから医薬品や医療材料を積み込んですべて運搬しました。その後も、ぞくぞくと気持ちを込めた物資が届けられ、翌日の17日には、部屋いっぱいになりました。



4tトラックに荷積みする支援物資と医薬品関係。

のざと外来にも支援の掲示板を設置しました

第4次支援隊は、3/19(日)東京泊～24(木)帰阪で送ります。

すでに、支援登録をいただいている方もありますが、今後、支援が可能な方は、職場長を通じて対策本部まで報告をお願い致します。

淀協ホームページに、震災支援状況をアップしました。ぜひご覧ください。

現地支援 鶴瀬副事務長からのメールです
2011.3.16(水)深夜

坂HP四日目(3/16)。

松本さんに引き継いだので自分の報告をします。今日は坂総合病院にいたることになっていましたが、武田さん、坂本くんとセヶ浜方面、仙台方面へ。セヶ浜は松本直子さんも避難所まわりを行ってる地域です。……絶句。テレビ以上です。独特の臭い、異臭と残骸。家の基礎のみが残ってます。海岸は防風林がなぎ倒され、根こそぎ持っています。見るも無惨……とはこのことだと思います。

海岸にはコンテナ、海には家が浮かんでいます。自衛隊、地元消防団の方が水溜まり(海溜まり)の中で遺体収容にあっています。屋根の上に船が乗っかり、車はグチャグチャになっていました。みんなに見てもらったら……という気持ちが時間とともに消えました。無言です。

避難所は3カ所まわりました。もう避難所暮らしも5日目をむかえ、環境の悪化がさらにすすんでいます。部屋に入ると異臭がするところもあります。避難所では余震の怖さもありますが、原発の怖さが一番で、予測もつかない恐怖を覚えているようです。一週間たつとメンタル面のケアも必要になるんでしょうね……。

今日が最後の支援でした。あっという間で、そしてあまりにも大きすぎて感想は思い浮かびません。帰ってからでしょうね……。

阪神大震災、東日本巨大地震の支援は貴重な経験となりました。